

指定管理者評価結果について

1 評価の仕組み

(1) 評価の視点

- ①施設の設置目的に沿った取組（サービスの向上等）が行われたか
- ②経費の節減など効率性の向上が図られたか
- ③公の施設にふさわしい適正な（適法性、安全性等）管理運営が行われたか

【指定管理者評価部会】

区 分	氏 名		役 職 等	備 考
A部会 ①スポーツ ②農林業振興 ③港湾・公営住宅	部会長	岩崎 美紀	中小企業診断士	行財政改革推進委員会委員
	委 員	竹田 隆行	日本文理大学 経営経済学部 准教授（スポーツ経営学）	
		木下 英朗	(有)メガネの正視堂 専務取締役	
B部会 ④文化・コンベンション ⑤レクリエーション ⑥社会福祉	部会長	佐野 真紀子	(株)日本政策投資銀行大分事務所 副調査役	行財政改革推進委員会委員
	委 員	炭本 典生	中小企業診断士	
		高橋 智秀	社会福祉法人みずほ厚生センター 障害者支援施設聖心園 施設長	

(敬称略)

(2) 評価手法・区分

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の2段階評価を実施

種 類		時 期	概 要
5段階評価	総括評価	5年度目（指定期間の最終年度）	採点を行い、A～Eの5段階で評価する。
	中間評価	2年度目	
年次評価（所見評価）		それ以外の年度	所見を記した文章により評価する。

(参考1：評価ランクの設定)

区分	点 数	評 価
A	90～100点	良好である
B	80～89点	概ね良好である
C	60～79点	普通である
D	40～59点	努力が必要である
E	0～39点	かなり努力が必要である

- ①自己評価(所管課による評価) : 6/6～29
- ②外部評価(指定管理者評価部会による評価：所管課評価を検証) : A部会 8/7～8、B部会 8/20・28
- ③評価結果を行財政改革推進委員会に報告、公表 : 10/19
- ④評価結果及び委員の意見等を指定管理者・施設所管課にフィードバック : 10月下旬(予定)

(参考2：評価項目と配点)

項 目	配 点
目標指標の達成等、設置目的の達成	20
利用者の満足度	20
経費の低減	20
収入の増加	10
職員育成、地域等との連携	15
平等利用、安全・危機管理	15
計	100

※施設特性に応じて配点方法は異なる

(3) 評価対象

指定管理者制度を導入している施設(26施設※) + 管理代行制度を導入している施設(県営住宅：1施設)

施設種別	施設数	指定管理者数	5段階評価						所見評価
			総括評価				中間評価		
			計	A	B	C	計	B	
①スポーツ	6	4	2		1	1			2
②農林業振興	3	2							2
③港湾・公営住宅	4	4	2			2	1	1	1
④文化・コンベンション	3	2	1			1			1
⑤レクリエーション	7	4	2	1	1				2
⑥社会福祉	4	4							4
計	27	20	7	1	2	4	1	1	12

※平成30年3月31日現在

(4) 評価結果の取扱い

- フィードバック：評価結果については、指定管理者にフィードバックすることにより、県民サービス及び業務効率性の一層の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営の確保を図る。
- インセンティブ：総括評価において「A」または「B」ランクの評価を受けた指定管理者に対しては、次期の指定管理候補者選定委員会における各選定委員の採点(100点満点)に得点加算を行う(「A」ランク：10点加算、「B」ランク：5点加算)。
一方、「E」ランクの評価を受けた指定管理者については、改善状況を県において評価・検討し、その結果、次回選定しないこともあり得る。

2 評価結果の概要(総括評価対象施設及び特に報告を要すると考える施設等)

(1) A部会報告事項

①総括評価

施設名 (指定管理者)	点数	評価 ランク	主な意見	主な意見に対する対応案
大分スポーツ公園 ・高尾山自然公園 (株)大宣)	80	B	○東京五輪開催時の大規模イベント誘致強化	○ 東京オリンピック期間中は、大規模イベントの地方開催が期待されるため、主催者の動向を掴むべく今後も情報収集を続けるとともに、積極的な営業活動を展開したい。 併せて、来年度は武道スポーツセンターが完成し、大分スポーツ公園を利用する競技団体が更に増えるため、それら団体とも、連携を図りながら各種イベントの誘致に努め、利用者増につなげていきたい。 【土木建築部】
庄内屋内競技場 (由布市)	68	C	①由布高の実績PRによる利用者拡大 【所管課に対する意見】 ②外部指導者(由布高卒業生等)の確保	① 市報や市ホームページを活用し、積極的にPRを行う。 ② 本年8月に「大分県の運動部活動の在り方に関する方針」を策定し、この中で「地域との連携」についても明示している。 総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域のスポーツ団体・競技団体等との連携による運動部活動の環境整備・充実の推進は重要なことであると考えている。 【教育庁】
別府港機械管理駐車場 ・県営3号上屋 ・石垣地区緑地 (株)おおいた観光サービス)	73	C	①アンケートによる利用者意見・実態把握の強化 ②新規イベント誘致の拡充	① 施設利用者の意見を的確に把握し、上屋等の利用促進に繋げるため、各施設に応じアンケート項目や実施方法を見直すことにより回収率のアップに努めたい。 ② 多くの方が集まるイベントが多数開催される施設を目指すため、指定管理者の目標指標を今年度から見直し、新規イベントの誘致促進に既に取り組んでいるところである。 【土木建築部】
大分港大在コンテナターミナル (株)大分国際貿易センター)	70	C	(特になし)	—

②中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)

施設名 (指定管理者)	点数	評価 ランク	主な意見	主な意見に対する対応案
県営住宅等 (大分県住宅供給公社)	82	B	【所管課に対する意見】 ①市町村と連携した必要戸数の把握 ②計画的な改修等によるコスト低減	① 今後、市町村と連携し、地域における住宅ストックの現状等も踏まえ、将来の世帯数や、そのうち低所得の世帯数の推計等を行いながら検討する。 ② 今後も長寿命化計画に基づく改修・建替等により引き続き努めるとともに、将来的に必要戸数を把握した上で、当該計画を見直し、さらにその推進を図る。 【土木建築部】

③所見評価(指定期間初年度、3～4年度目)のうち部会として特に報告を要すると考える施設

施設名 (指定管理者)	主な意見	主な意見に対する対応案
大分農業文化公園 (公社)大分県農業農村 振興公社)	①来園者が簡単に農業に触れる仕掛けづくり ②フードコート充実と運営の効率化 ③休憩場所(日陰)の増設 【所管課に対する意見】 ④来場者数の目標達成に向けた計画的取組	① フルーツ等の収穫体験や芋掘り体験に加え、播種から収穫までの一連の農業体験ができるような企画を検討したい。また、県内の消費者に農業の良さを理解してもらうため、生協等と連携し園内農場を活用した消費者の農業体験を検討する。 ② 公園で栽培したフルーツ等の農産物を使用した「かき氷」などの季節限定の商品提供について検討したい。フードコートについては、イベント時に外部業者を受け入れるなど、新たな方法も検討したい。その際は提供するメニューに県産食材を使用する等の提案を行っていききたい。 ③ 近年夏期の暑さが増していることから、屋外で日よげができるようにパラソルの設置などを検討していききたい。 ④ 来場者数の目標達成をめざし、課題の洗い出しと対応策の検討や新規取り組み(イベント等)を指定管理者と協議し、そのなかで計画的な取り組みを検討していききたい。 <div style="text-align: right;">【農林水産部】</div>

(2) B部会報告事項

①総括評価

施設名 (指定管理者)	点数	評価 ランク	主な意見	主な意見に対する対応案
別府コンベンションセンター (ビーコンプラザ共同事業体)	76	C	①利用者増に向けた取組 ②戦略的な営業活動の強化 ③営業活動・施設管理効率化の計画的取組 【所管課に対する意見】 ④上記①～③の課題に係る主導的取組	① 今年度は有名アーティストのコンサートや大相撲、お笑いなどの興行を誘致しており、利用者数の増加を見込んでいる。今後も施設所管課との共同による積極的な誘致活動を行い、利用者数の増加を図っていききたい。 ② 主要4施設を利用された各種大会のリストは既に整備されており、大型案件の取りこぼしがないようにしている。また、各大型催事のご担当者には誘致営業に関する連絡を随時行い、人脈づくりの維持、継続に努めている。 ③ 施設の継続的な利活用が行われるよう、数年先のイベントの情報収集や誘致に向けた営業活動は、引き続き、積極的かつ計画的に行っていききたい。 また、施設管理の効率化については、光熱水費のほか、警備、清掃委託など指定管理者として対応可能な部分は、今後も取り組んでいきたい。 ④ 指定管理者の誘致活動への同行や業務の進捗管理など、施設所管課として指定管理者との連携を十分に図りながら、ビーコンプラザの利用促進に努めたい。また、施設の効率化に関しては、大規模改修時に管理経費の削減につながる省エネ型の機器に切り替えるなど、関係課と検討したい。 【企画振興部】
長者原オートキャンプ場 ・長者原園地 (株)吉武建設	93	A	①PR強化(大学生、PTA等) ②HPでの施設・設備情報の提供 ③現金以外の決済方法の導入 ④利用者の季節変動の要因分析	① 今後は特に大分・福岡県内の大学のサークルに向けて周知方法を検討していく。少年スポーツチーム等の団体利用を目指して、まず九重町内のPTA行事等で保護者に向けてPRを検討したい。 ② 設備・施設などの写真については、今年度中のHP掲載を目指す。また、Googleのストリートビューの機能を活用して、オート&フリーサイト・ケビン棟内部等の画像データをキャンプ場のHPで見られるようにする。 ③ 導入費用・手数料の課題があり、QRコード決済も含めた現金以外の支払い方法(カード払等)について検討していききたい。 ④ 利用者数の変動要因(対前年比、前月比)の分析を毎月行い、8月の報告書から分析結果を盛り込むように改善した。 【生活環境部】
大分県青少年の森 ・平成森林公園 ・神角寺展望の丘 (公財)森林ネットおおい	86	B	①ドローン活用の新規取組 ②HPの充実 ③PR強化(PTA)	① 林道パトロールへのドローン活用については、連続飛行の課題(現状10~15分程度)から即時対応はできないものの、一般の方がドローンを練習する場としての提供や森林内でのドローン競技等については、ニーズ等を確認しつつ検討していく。 ② これまで行ってきた春の桜、ラベンダーの開花状況に加え、夏から冬にかけて、その時々の見どころをホームページやフェイスブックに掲載し、情報発信していく。 ③ 児童育成クラブや子ども会等への働きかけを行い、団体での利用や家族での利用に繋げていく。 【農林水産部】

②所見評価(指定期間初年度、3～4年度目)のうち部会として特に報告を要すると考える施設

施設名 (指定管理者)	主な意見	主な意見に対する対応案
大分県立総合文化センター ・大分県立美術館 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団)	①アンケートの回収率増対策・内容見直し ②集客ターゲットの年齢層を意識した企画 ③五感で芸術文化を楽しむ展示の工夫 ④恒常的な集客の取組・1階アトリウムの柔軟な利活用	① 美術館では、貸館による施設利用者アンケートとは別に来館者アンケートを実施しており、その中で詳細のアンケート項目も設定している。 今後は、アンケートの回収率を引き上げるための工夫をしながら、来館者の意見を可能な限り美術館運営に反映できるように努力していきたい。 ② 美術館開館から3年半が経過し、来館者の傾向や県民ニーズが少しずつ把握出来るようになってきたところ。特に、家族連れで楽しめる企画は、夏休みには必要不可欠であると認識しており、今後、そのような観点で魅力的な企画の実施に取り組みたい。 ③ 五感で楽しめる美術館としての取り組みをさらに進めていくため、教育普及をはじめ、様々な事業の取り組みの中で知恵を絞りながらできる限りの工夫をし、誰もが芸術・文化に触れることができる場所となるよう努力していきたい。 ④ 美術館としての環境保持を着実に行いつつも、開放的な建築で「街に開かれた美術館」として造られた施設面での利点をフルに活用し、アトリウムでのイベントなど、既成概念にとらわれない柔軟な施設利用を積極的に行うことにより、来館者の増加を図りたい。 【企画振興部】
大分県社会福祉介護研修センター (社福)大分県社会福祉協議会)	①平日夜間の研修開催 【所管課に対する意見】 ②住宅改造モデル展示場の活用	① 介護職員の勤務状況等も踏まえ、夜間における研修ニーズがあるか調査してみたい。 ② 住宅改造モデル展示場については、指定管理者と連携して利用者の増加を図る一方、開設後25年が経過し展示物が旧式化していることから、今後のあり方(展示物の更新や福祉用具展示場への機能移転等)について検討したい。 【福祉保健部】
ハーモニーパーク (株)サンリオエンターテイメント)	【所管課に対する意見】 ○実証展示林の現実的な管理のあり方	○ 実証展示林については、アクセス性が必ずしも十分ではない中で、管理棟を使って竹に親しむ体験学習のイベントを実施している。 今後は、当該イベントをフェスティバルステージで開催すること等により、参加者の増加を図りながら、実証展示林の認知度の向上と活用促進に努めたい。 併せて、自然観察や散策等で利用できる環境維持に努めながら、県内唯一の実証展示林を将来に向けてしっかりと保全していく。 【土木建築部】

(3) 所見評価(その他の施設)

施設種別	施設名	指定管理者	主な意見
①スポーツ	大分県リバーパーク犬飼	豊後大野市	○グラウンド(A・B)の利用時間平準化 ○再委託先の管理状況の把握
	大洲総合運動公園	ファビルス・プランニング大分共 同事業体	○HPのスマホ対応
	大分県立総合体育館		
②農業振興	大分県林業研修所	(公財)森林ネットおおいた	○業務量(国事業/県事業)に応じた人員配置の明確化
③港湾・公営住宅	別府港北浜ヨットハーバー	(株)ササキコーポレーション	【所管課に対する意見】 ○占用利用者とビジター利用者の適正割合の検討 ○維持管理コスト低減(耐久資材の導入)
⑤レクリエーション	大分県マリンカルチャーセンター	(株)プランニング大分	(特になし)
⑥社会福祉	大分県母子・父子福祉センター	(一財)大分県母子寡婦福祉連合会	○独自の強みを明確にしたうえでの利用促進 【所管課に対する意見】 ○立地見直しの検討
	大分県聴覚障害者センター	(社福)大分県聴覚障害者協会	○災害避難時の近隣住民との連携 ○要約筆記・手話通訳の受講者増の取組
	大分県身体障害者福祉センター	(社福)大分県社会福祉協議会	○指定管理業務のあり方見直し(生活相談業務) ○利用者実人数の把握と裾野拡大の方策 ○一般利用者向け料金の近隣比較